2024年11月1日　発行　　年間購読料1200円　発行責任者　池田章子

香川県高齢者生活協同組合　2024年　第230号（11･12月号）

ひだまり

ひだまり生協
香川県高齢者生活協同組合
〒761-1705　高松市香川町川東下 1190-1　TEL　087-899-6311
http://www.kagawa-koureikyou.org　FAX　087-899-6312

今月のお知らせ

●福祉事業部
●PickUp ひだまり人
●ひだまりの Wa!!
●石清尾八幡宮秋季大祭
●エルダーキャッツ 20 周年
●健康のページ
●エッセイ（第 15 回）
●農園利用者募集

『ひだまり大運動会』

秋晴れの10月11日(金)、ひだまり村にて「香川高齢協ひだまり大運動会」が開催されました。

この日は香川、牟礼、川島の各事業所の利用者様やスタッフら60名超が集結し、池田理事長の「怪我には十分気を付けながら、楽しく、仲良く、たくましく頑張りましょう！」という掛け声で開幕。チラシを使った手作りの万国旗が心地よい音を立てたなびくなか、玉入れやスプーンレース、風船割り、パン食い競争などで心地よい汗を流しました。

各競技とも、利用者様だけでなく、スタッフチームも参戦。時おり本気モード(?)も漂うなか、皆で大きな声を出して声援を送ったり拍手して盛り上がりました。

待ちに待った昼食は、ちらし寿司と豚汁。満腹になった後は、牟礼ひだまりのハンドベル演奏で会場は癒しの空間と化しました。

昨年に続いて香川ひだまりチームの優勝となりましたが、結果はさておき、皆さんが楽しそうに引き上げる姿が印象的でした。

事業部 ふくし

ひだまり川島

今年は敬老の日と中秋の名月が重なり、ダブルでお祝いをしました。川島地区の方は、コミュニティセンターで記念品をいただきました。

レクではカラオケを楽しみ、普段は物静かな利用者様も、皆の楽しい笑い声につられてスタッフと一緒に歌われました。

おやつはお月見まんじゅうをいただき、「このまんじゅうかわいい！」と喜ばれ、終始笑顔の一日となりました。

全員で満月を見ることが出来ないため、一緒につくった作品と記念撮影!!

来年も月のウサギと会えますように・・・。

牟礼ひだまり

牟礼ひだまりでは、66歳から94歳まで幅広い年齢の方が利用されています。

9月16日㈪に開催された敬老会では、「敬老会してもらうの今日で何回目やろうね」「毎年、楽しみやけど歳とって歩くのもしんどくなるわ」「この年になると何べんも祝ってもらうの恥ずかしいわ」の声が聞かれました。

銭太鼓の山地先生の演舞はとても綺麗で、楽しそうに手拍子をしたり、一一胡の演奏グループ「Bee's Buzz」の演奏が始まると、曲を口ずさんでいました。

また、初めての試みとして「Bee's Buzz」の一胡とひだまりのハンドベルで『バラが咲いた』をコラボ演奏しました。

これからも元気な100歳を目指して頂けるよう、お祝いメッセージをプレゼントしました。

利用者様募集中!
デイサービス
香川ひだまり
見学・体験 大歓迎 です！
手作りの昼食無料提供いたします
〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1
月～土曜日 10：00～15：30 TEL 087-889-5011

香川ひだまり

9月17日㈫、香川ひだまりでは敬老会を行ないました。

皆さん、食事や三味線の演奏を楽しまれました。食事は赤飯に天ぷらや茶碗蒸しをいただき、当日はちょうど十五夜だったため、お膳にはうさぎと月のかわいい飾りを添えました。

三味線の演奏では、皆で歌を歌ったり阿波踊りを踊ったりしながら、笑顔が見られとても盛り上がりました。

また、ひだまりスタッフの平井さんがマジックを披露され、皆さんアッと驚いたり、「不思議やなぁ」と感心されていました。

おやつにどら焼きとスタッフ手作りの置物をプレゼントし、「かわいいね」と喜んでいただけていました。

また、米寿を迎えた利用者様に高松市長からお祝い品が届いており、皆さんの前でお渡しさせていただきました。

これからもお身体に気をつけて、この自然豊かなひだまりにてお元気でお過ごしください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

また10月13日㈰には、ひだまり村に平政堂獅子組の皆さんが来訪され、外の広場にて演舞を披露して頂きました。

久しぶりに見た獅子舞に皆さん大変喜ばれ、大きな太鼓の音と迫力ある獅子の動きに釘付けでした。最後には、獅子と集合写真を撮って下さり思い出の一枚となりました。平政堂獅子組の皆様、ありがとうございました。

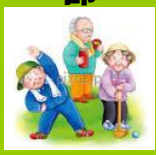
香川高齢協本部事務所東側の壁面に、「色(しき)の会」の子供たちが制作してくれた看板が、このほど設置されました。

同会のブログによると、「色の会」は、私たちの周りにいる発達障がいなど、生きづらさを抱えている子供たちやその兄弟姉妹、保護者のための小さな会。

『落ち着いた空間で、のびのびと安心して活動できる場所づくりを目指して活動している』といい、懸命に描いてくれた愛くるしいステキなデザインで、ひだまり村のＰＲにも一役買いそうです。

池田理事長も「温かみのある明るい看板」と喜んでおり、「ここを通る方に、香川高齢協が福祉事業を展開していることを知ってもらうきっかけになれば」と期待を寄せていました。色の会のみなさん、有難うございました。

ひだまり倶楽部



▼「秋の法要」16霊目を納骨

ひだまり倶楽部「秋の法要」が秋分の日の９月22日(日)、10時より圓通寺で執り行われました。

『暑さ寒さも彼岸まで』と言われるように、雨模様ではあったものの、前日までの猛烈な残暑から一転、秋らしい空気を肌で感じながらの厳かな法要となりました。

15の霊が安らかに眠るひだまり霊廟。この日は16霊目の納骨も行われ、関係者ら約20名が集まり、静かに手を合わせました。

読経を終えた野田住職は、一般的に墓じまいが進み、納骨堂が見直されている現状を説明。協同組合としていち早く共同霊廟に取り組んだことに触れ、「時代の先取りで、県下でも誇るべき霊廟」と高く評価していただきました。

ひだまり霊廟は84霊まで納骨できる設計。いつでも気軽にお参りすることができ、組合員であれば希望に応じて納骨が可能です。場所は高松市西ハゼ町三三六-一。

なお春の法要は、３月21日(金)を予定しているということです。

▼11月17日「さつき」発表会

歌声「さつき」は11月17日(日)、丸亀市生涯学習まつりにおいて発表会を行います。会場は丸亀市生涯学習センター大ホール。

出演時間は11時40分頃から12時頃(若干の変動あり)。

「さつき」は平成30年10月に発足。登録者も200名を越え、月二回、第一・第四木曜日に練習を実施。コロナ禍を乗り越え、現在では毎回30名～35名が参加するなど、香川高齢協の中でも大規模な同好会へと躍進しています。

ただこれまでの活動拠点であった丸亀市生涯学習センタービルの取り壊しが決定し、今春より宇多津町保健センターに練習場所を変更。思い出の詰まった生涯学習センターでの最後の発表会となることから、従来にも増して多くの来場を呼びかけています。

参加者は約35名。メドレー曲「森へ行きましょう」「静かな湖畔」「線路はつづくよどこまでも」のほか、通常曲「恋の季節」「手のひらを太陽に」「見上げてごらん夜の星を」を予定しています。

利用者さん募集中❣
見学・一日体験大歓迎
美味しい昼食無料！！

健康　体操　笑顔

住み慣れた自宅で過ごせるようにお手伝いします。

楽しく笑顔で過ごせるよう頑張りま～す

通所介護事業所 牟礼ひだまり

高松市牟礼町牟礼 2540-16　☎087-845-7182

月～金曜日 9：00～16：15

Pick Up ひだまり人

生きがい事業部/さぬき満月会
世話人

岡野 千晶さん

民謡と新舞踊の輪を広げながら、他の同好会との交流も図り活性化させたい

生きがい事業部の同好会に正式加盟した『さぬき満月会』だが、毎年夏の夜に屋島山上で開催されるさぬき満月まつりと同じ約 20 年の歴史があり、設立当初からの古参メンバーとして、明るいキャラクターと頼れる存在感は揺るがない。

まつりの創始者でもある青梅会長とは、「自動車運転免許取得時に指導をしてもらって以来、約 50 年のお付き合い」。また「結婚式ではカメラマンとしてたくさん写真を撮っていただいた」という恩などもあって、会のまとめ役の打診を断る理由は見当たらなかった。

設立当初より、青梅会長の縁で斯界の第一人者、山西哲子先生（民謡山西会主宰）との関係性も深く、きめ細やかな指導や協力を仰ぎながら活動。屋島に伝わる太三郎狸をモチーフにした『さぬき満月踊り』をはじめ、各地の民謡や歌謡曲で踊る新舞踊を軸に、8 名のメンバーが月 2 回の練習に汗を流し、発表会や文化祭、施設慰問等で披露することが生き甲斐だ。

「みんな喜んでくれて、踊る私たちも幸せな気持ちになれます」と充実感を漂わせるが、一方でメンバーの高齢化、固定化は避けて通れず、「会員の増強と若返りが課題」という現実とも向き合わなければならない。皆が純粋に踊りを楽しむことは言わずもがな、会を存続させていくことにも使命感を燃やすなかで、池田理事長から同好会入りの声をかけてもらったことを千載一遇のチャンスと捉え、活性化に繋げることにも意欲をみなぎらせる。

「他の同好会とも交流を図る中で、踊りの好きな方がいらっしゃれば満月会にお誘いしたり、また満月会のメンバーも他に興味のある同好会があれば参加したりして、趣味を楽しむ元気な高齢者が増えれば地域が元気になりますね」と、相乗効果に寄せる期待も大きい。

訪問介護事業所ひだまりステーション

香川県高松市香川町川東下 1190-1
☎087-899-6314
利用者さんと登録ヘルパーさん募集中!
いつもの生活を送るお手伝いをしています

12月10日にボウリング大会

昨年10月に初開催した「理事長杯争奪 高齢協ボウリング大会」を12月10日(火)13時30分より開催します。

同好会のメンバーだけでなく、高齢協の組合員であればどなたでも参加できます。

会場はマルナカパワーシティー屋島店3階のMGボウル。商品は優勝者以外にも2位、3位、また5位毎の飛び賞、ラッキセブン賞、ブービー賞、ホタル賞などを用意しています。

3ゲームで会費は千円、ハンデキャップは男性は0ですが、女性は20点×3です。

練習投球の時間もあり、準備の都合上、集合時間は13時とします。参加の締め切りは12月6日(金)まで。

連絡は同好会木村会長（〇九〇-四五〇一-三四一三）のLINEまたは電話、同好会世話係寺田さん（〇九〇-七一四九-八五二〇）の電話またはショートメールでお願いします。

地域活動

「石清尾八幡宮秋季大祭」

秋らしくなってきた10月19日(土)、20日(日)の両日、高松市民の氏神様・石清尾八幡宮秋季大祭が盛大に開催されました。

香川高齢協からは理事や支援協会のメンバーら、一日間で延べ40名超が応援部隊として参加。

横断歩道等における通行の警備をはじめ、丸亀町商店街振興組合の子ども太鼓台や日舞山車を引き回すサポート役として、小雨の降りしきる19日は高松市中央商店街を北から南へ、天候に恵まれた20日は八幡通りを勇壮に練り歩きました。

『高齢者がより元気に！』と背中にプリントされた色鮮やかなオレンジの法被はインパクトも十分で、高松を代表する行事に合わせ、香川高齢協をアピールする絶好の機会となったようです。

参加された皆さん、一日間、お疲れさまでした。

ひだまりの Wa !!

2000 人超のタクシードライバーを養成　青梅スミ江さん(香川高齢協会長)

「香川のタクシードライバーで、青梅先生のことを知らない人はいない」というのは有名な話。長きにわたり、県下唯一のタクシー職業訓練校『青梅自動車教習所』の代表として熱のこもった指導には定評があり、業界に送り出した生徒数は「優に 2000 人を超える」とサラッというから凄い。

実は子供の頃から体が弱く、15 歳から 21 歳までは入院生活を余儀なくされていた青梅会長。深刻な病状とは相反して、「入院中に覚えたのは、酒とタバコと病院を抜け出すスリル」という逸話はもう時効ながら、幼少期から車が好きで、運転に対する憧れだけが闘病生活で唯一の希望だったとも言います。

退院して、昭和 32 年 4 月に運転免許を取得。その後はブラザーミシンで営業職に就いていたものの、「一日中運転できる仕事がしたい」と同 37 年に二種免許に合格。県下最大手の日新タクシーに就職し、珍しい女性ドライバーということで、売上成績は常にベスト 5 にランクしていたそうです。

転機は昭和 40 年。普通免許の個人教習を始めた同僚に、指導者としての道を熱心に口説かれ、将来性も見越して決断。「どうせ怒られるから」と両親にも事後報告で当時 60 万円という高価な中古のクラウンを購入し、県の試験場や市内塩田跡地の貸コースを併用しながら 1 台から教習をスタートさせます。

第二次ベビーブームなど時代背景にも助けられ、教習生も順調に増えて事業としても成長。一方で香川を訪れる観光客が増加してきたことで、タクシー会社も増えはじめ、今後、タクシードライバーの需要が高まることも常に頭の片隅にあり、当時、タクシー組合の理事長を務めていた日新タクシーの古竹社長のサポートもあって、二種免許に特化した教習所へのシフトを決断したのです。

「結果的にこの転換は企業として最善の決断だった」という言葉が示すとおり、独自の地歩を歩もうとした青梅会長の英断。この動物的直感力は、香川高齢協の理事長時代にも遺憾なく発揮してくれました。大病に苦しんだ青春時代。「不思議なもので、21 歳で退院して車の運転を始めてからは健康そのもの」とニッコリ。「指導者として生涯現役を覚悟」という言葉にこれほど説得力がある人はいません。

ちなみに青梅会長は、『フル免許』と呼ばれるもので、全ての免許の一種と二種を取得。運転の達人は「道路は見ずに、5～6 台先を見て視野を広めて走ることが安全運転のポイント」と話してくれました。

警備していただける人（未経験者大歓迎）を募集!

急 募

未経験者でも大丈夫です　丁寧にご指導いたします。
皆さん！　すぐに、活躍できますよ　　初任者研修後

＊組合員の皆さまも、ぜひともお近くのお知り合いの方をご紹介下さい

制服貸与　勤務地、勤務日は、相談可　　兼業も OK！

いつでも、お気軽にご連絡ください。

警備事業責任者川西☎080-2851-4338　又は、本部☎087-899-6311 まで

事業部 生きがい

祝20周年!!「エルダーキャッツ」

香川高齢協の誇る「高齢協劇団エルダーキャッツ」が、２００４年の旗揚げ公演「すてたらあかん」から20年の歴史を積み重ね、10月10日㈭に記念パーティが華々しく開催されました。

会場のＪＲクレメントホテルには、高齢協関係者をはじめ、脚本や演出を手掛けてきた劇団マグダレーナの大西 恵氏、中越恵美氏ら舞台の協力者などが集結。

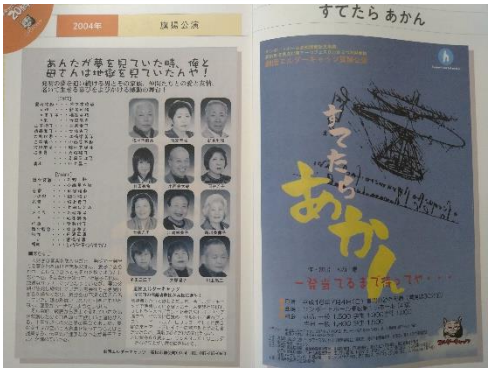
冒頭の挨拶で池田理事長は「エルダーキャッツの歴史と行動力に感動。身近なコミセンから、愛・地球博に代表される県内外の大きな舞台まで、生きる勇気や人の

大西氏

中越氏

小西団長

鎌倉氏



優しさ、笑いを届けてくれた」と惜しみない賛辞を贈りました。

青梅会長も「介護や特殊詐欺、相続など高齢者を取り巻く身近な社会問題に焦点を当て、笑いを交えながら啓発していくテクニックはまさに真骨頂」と評し、今後の躍動にも期待を込めました。

一方で設立当時を振り返った大西氏は「演劇は若者だけのものではない。高齢者の劇団を作ろう」との呼びかけに、団長の依頼を即座に快諾した小西団長の決断力とその後の行動力を高く評価。

小西団長の功績を皆で労ったうえで、歴史を振り返るＤＶＤでは「若い！」「よくこんなことできたな」などと、笑顔に時おり涙も交えながら、若き日の雄姿を懐かしむ参加者もいました。

小西団長は「皆さんのおかげ」ということを幾度となく強調。最後は団員の肝煎りで夫人とのケーキカットが用意され、これまでの輝かしい舞台にも負けない微笑ましい姿で幕を閉じました。

仲間を募集しています。

◎草刈り、植木の剪定、剪定のお手伝い、引越し手伝い、廃材処理

◎登録して頂くと、あなたの時間、
できることを誰かのためのサポート側として活躍してみませんか。

◎年金プラスαの収入を得る働き方をめざします。

◎仕事の依頼もご相談下さい。

仕事おこし事業部

☎080-2990-4586（森岡）

あなたを守り隊手帳

丸亀町クリニック突撃企画②

前号に続き、『健康のページ』は、当コーナーでお世話になっている丸亀町クリニックを訪問し、先進的かつ非日常的な魅力ある医療空間をレポートします。

この水墨画の掛け軸、ステキだと思いませんか。豊永慎二院長の母が描かれた作品で、四季に応じて入れ替えるそうです。

さらにクリニックには患者が作った切り絵や彫刻品、絵画、船の模型なども展示。「手作りの作品には既製品にはない温かさがあり、心を穏やかにしてくれます」（豊永院長）。

患者の緊張感をほぐす和やかな空間作り、つまり医療プラス α の付加価値にも注力しています。患者が些細なことでも気軽に相談できる雰囲気や、安心・安全に医療を提供できる体制づくりを特に意識しており、「笑顔で帰っていただく姿を見ることが、私たちにとって何よりの喜びです」と本音も洩らします。

取材中に何度も「一人ひとりの患者さんに寄り添う」という言葉を口にした豊永院長。「その人に合った最善の治療法を提案し、丁寧に治療していきたい」という思いはぶれず、一般的な検診に加え、本人が気になるところだけピックアップできる『ちょこっと検診』もその思いを具現化したものではないでしょうか。

近年はコロナに代表される感染症も予断を許さぬ状況が続いていますが、丸亀町クリニックの感染症予防策は、特筆すべき高いレベルで徹底・実践されています。

発熱外来は、入口や待合が通常の外来診療、健康診断と区別されていることは言わずもがな、医師や看護師と感染症の疑いのある患者は、部屋を完全に仕切った小窓で対応。

機械空調で双方の部屋の圧力を変え、患者側の空気が流れ込まない工夫にも、双方の患者に対する思いやりだけでなく、スタッフへの配慮も感じ取ることができました。（了）

ひだまり新聞 編集長　原　伸介

通所・泊まり・訪問　すべて使える♪
利用者様・介護職員　募集！
小規模多機能型居宅介護
ひだまり川島
〒761-0443　高松市川島東町925-1
TEL 087－848－2877
明るいみんなが待っています！見学も大歓迎！

音と光

音と光が一番よく使われている交通機関は船ではないだろうか。

船では法律上、音や光にはそれぞれに重要な意味があって、むやみに発してはならないことになっている。

例をあげると、まず音の場合、右に曲がるときは短い汽笛を一回、左は二回、バックは三回鳴らして行動に移すのだが、その音を聞いた相手の船は安全な動作を取らなければならない。

また、相手の船の動作がおかしいと感じたときは五秒ほどの長目の汽笛を警告の意味を含めて使うが、更に衝突の危険が迫って来たときは「何をしているのか！」と注意喚起を促(うな)がす意味で連発することもある。

霧が立ち込めたときに鳴らす汽笛にも数多く定められている。あやふやな汽笛だったり、間違った汽笛を鳴らしたりすると即衝突事故につながる。

一方、光に関していえば、日没から日出までの夜間は操舵室の右側に緑の灯火を、左側に紅色の灯火を、船尾に白の灯火を、そして船首のマストに低く船尾のマストにより高く、高低差のあるマスト灯を点けることになっている。これは相手船に自船の走る方向を知らせるもので、例えば自分から見て相手船の紅灯が見えれば、その船は自船の前を右から左へ、緑灯だと左から右へ横切る船となる。

その他、危険物積載船、作業船、引き船、漁船などにも様々な灯火規定がある。

さて、音や光は五感によって感知する訳だが、私には音と光を考えたとき必ず頭をよぎることが一つある。

アメリカのヘレンケラーと日本の中村久子(敬称略)の二人の女性のことだ。

一八八〇年に生まれたヘレンケラーは、生後三重苦の宿命を背負い、一八九七(明治三十)年に生まれた中村久子は、生後間もなく患った凍傷による特発性脱疽で両手両足を切断している。ヘレンケラーはサリバン先生の厳しい指導のもと、五感のうち残された触覚、味覚、臭覚で奇跡的に三重苦を克服したのに対し、中村久子は母親の厳しい躾(しつけ)と本人の血を吐くような努力で四肢のない不便さを自ら克服している。

彼女は「ダルマ娘」として見世物小屋に売られた辛い経験もしているが、驚くことにその内、口の中で針に糸を通して着物を縫ったり、髪を結ったり、食事の支度をしたりと、通常の主婦と変わらないようにまでになる。また、後年はキリスト教に入信し、福祉活動などにも従事している。

一九三七(昭和十二)年、久子は来日したヘランケラーと会う機会に恵まれ、自分が縫った日本人形をプレゼントした。そのときヘランケラーは「私より不幸な人、私より偉大な人がここにいる！」と彼女を強く抱きしめたという。

ヘレンケラーの「見えない」「聞こえない」「話せない」の三重苦と、中村久子の四肢のない苦しみと、どちらを背負えるかと問われても私にはそんな勇気などない。

私もそうだが、歳を取るとどうしても体力や気力が失せ、病気になると、つい死んだほうがましだと、落ち込んでしまいがちだが、少しでも聞こえたり、ものが見えたり、話すことが出来るのであれば、自分は幸せだと思うべきではないだろうか。

たき火

かきねの　かきねの　まがりかど
たき火だ　たき火だ　おちばたき
あたろうか　あたろうよ
きたかぜ　ぴいぷう　ふいている

さざんか　さざんか　さいている
たき火だ　たき火だ　おちばたき
あたろうか　あたろうよ
しもやけ　おてても　もうかゆい

文と切り絵　萩原幹生

農 園 利 用 者 募 集

「詰田川自然農園」の利用者を募集中!!

高松市木太町にある詰田川自然農園では、野菜や花を栽培したいという利用者を募集しています。農園を通して季節を感じることができ、自分で作った野菜はとてもおいしいですよ。組合員であれば利用料は無料。ただし肥料代等は別途必要となります。

詳細のお問い合わせは ☎090-1001-1571(新名さん) まで。

ご一緒に楽しみませんか？

♠高松教室 （高齢協本部）

♠ひだまり麻雀会☎津田 090-2895-3347
・毎週土曜日と月 1 回は水曜日

♠高齢協劇団「エルダーキャッツ」(13 時 30 分～16 時 30 分)
・毎週日曜日 木太コミュニティセンター
☎小西 090-1003-8568

♠讃木会☎三宅 090-7141-7297

♠ボウリング同好会☎木村 090-4501-3423

♠ダンスを楽しむ会
・毎週金曜日(13 時～15 時) 木太コミュニティセンター
☎木村 090-4501-3423

♠麻雀を楽しむ会☎河井 090-2787-9963
・毎週月・木曜日(11 時 30 分～15 時)

♠詰田川自然農園☎新名 090-1001-1571

♠グルメと散策を楽しむ会☎二宮 090-4974-8457

♠さぬき満月会☎岡野 090-5273-1931

♠西讃地域センター

♣琴平・ダンス十八番(13 時～17 時)
ダンスパーティー(11/10、12/8)
☎日野 090-3188-1672

♣歌声「さつき」(13 時30分～15 時 15 分)
・月 2 回(11/13・28、12/12・26、1/9・23)
宇多津町保健センター(町役場隣)4 階
☎奥山 090-2825-8849

■ご意見・お問い合わせは各部会の代表または高齢協本部まで 高齢協本部☎087-899-6311

編集後記

▼ひだまり霊廟のある圓通寺の野田大燈住職は、喝破道場や四恩の里、若竹学園の設立者としても知られていますが、秋の法要の講和で、日本の戦争について印象深いお話がありました。日本の約 1 万 2 千年前に 1 万年ほど、世界でも稀な戦争のない時代があったとのこと。それが石器時代の名残を残した『縄文時代』で、戦争がなかった理由は、住居を建てたり食物のイノシシやシカを捕獲するのは一人では難しく、生きていくためには自我を抑えてみんなの『協力』を得る必要があったからだそうです。平和な日常から人々は文化に目を向け、土器やイヤリングなどの創作活動に取り組んだことも想像できます。貧富や地位の差もなく、心豊かにのびのびと生きることを羨ましく思うのは、豊かすぎる現代人にとって贅沢なことでしょうか。▼「エルダーキャッツ」が設立から 20 周年を迎えたことは、香川高齢協の歴史においても屈指のメモリアルな出来事というべきでしょう。小西金太郎団長の柔和な人柄と並々ならぬ熱意が周囲に伝播し、多くの人たちを巻き込みながら歴史を刻んできたことは敬服に値するものです。30 周年、50 周年に向けた新たな胎動に期待が集まります。▼ひだまり村での合同運動会では、たくさんの笑顔が弾けていました。参加者に楽しんでもらえるよう、安全に配慮しながらホスピタリティを発揮するスタッフたちにもプロの心意気を感じました。(SH)